

小学生ら歌や朗読 環境問題考えたよ

大治でイベント

歌や朗読を楽しみながら、SDGs（国連の持続可能な開発目標）を学べる「はるはるハッピーコンサート」が二十六日、大治町の児童センターであり、町内の乳幼児や小学生とその親ら約三十五人が参加した。

町が、元タカラジェンヌの歌手まほろば遊さん＝名古屋熱田区＝と連携し、子どもたちにSDGsへの理解を広める取り組みの第一弾。遊さんが、気候変動などで絶滅が危惧されるミツバチを通して生態系について考える自作絵本を読み聞かせたり、クイズも交えたりして、SDGsと一緒に考えた。

遊さんやアシスタントの学生らが親子で楽しめる歌や踊りも披露。子どもらは

歌や踊りも絡めて、親子で簡単にできるSDGsを広めるまほろば遊さんら＝大治町の児童センターで



音楽に合わせて一緒に体を動かすなど、喜んでいた。温暖化の原因や影響も絵で分かりやすく紹介した遊さん。環境の改善に向けて、エコバッグの使用や電気使用量削減の大切さを訴え、「大人になっても笑顔で暮らせるように、身の回りのできることを家族と話し合って」と呼び掛けた。